



# Vault をおすすめする 主な理由



**Autodesk® Vault を使用すれば、エンジニア、設計者、関連チームのコラボレーションを改善し、製品開発を迅速化できます。**

設計データとエンジニアリングプロセスをセントラルシステムで管理できる Vault なら、作業時間を短縮し、余計なコストのかかるエラーを防止し、効率的に設計を変更・リリースできます。

## 01. CAD との統合

データ管理ツールの Vault は、Autodesk® Inventor® や AutoCAD® (Electrical ツールセットや Mechanical ツールセットを含む) などの設計ツールとシームレスに統合されているため、ソフトウェア間のやりとりで手間がかかることもなく、スムーズに作業を進めることができます。CAD との統合により、エンジニアリングから製造までのワークフロー全体を通じて設計関連データを容易に管理でき、時間の節約やデータ精度の維持につながります。

## 02. 改訂履歴を管理、追跡

Vault は、変更を自動的に追跡し、過去のファイルバージョンを維持して設計の履歴全体を記録するシステムであり、関係者全員が最新の情報を使用して作業できるようにします。

## 03. データの迅速な検索

高度でインテリジェントな検索機能で、必要なものを必要なときにすばやく検索できます。たとえばファイルを検索して再利用することで設計を最初から再作成する手間を省いたり、ジオメトリ検索で重複するパーツを特定および削除し、組織全体の生産性を向上したりできます。Vault を使用すると情報検索が大幅にスピードアップし、設計作業が効率的になります。

## 04. リリースと変更の自動化

正式化と改版のプロセスを手動で行うと、設計プロジェクトが遅延するなど、製造現場でミスが起きかねません。Vault Professional なら、設計チームはリリースや設計の変更管理について、標準プロセスまたは設定可能なプロセスから選択できます。これはコストのかかるミスを回避し、ボトルネックを解消する上で役立ちます。

## 05. データを迅速にコピー、再利用

データ管理ソフトウェアの Vault を使用すれば、既存の設計や関連ファイル、ドキュメントをコピーして、新しい設計で容易に再利用できます。置換、再利用またはコピーするファイルの設定も簡単です。複雑なモデルや図面セットを毎回一から作成する必要がなくなるため、設計時間の短縮につながります。

## 06. コンカレント設計とコラボレーション

1つのシステムで製品のデータを一元管理することで、部門にまたがる複数のチームと効果的に連携しながら設計を同時に進行させることができます。製品情報をメールやスプレッドシートなどで個々にやり取りすると、ファイルが上書きされてデータが失われたり、データが重複したりするリスクが生じますが、Vault を使用すれば、そのような手間や心配がなくなります。チームメンバーは、設計データをチェックアウトしてから変更を加え、変更後に再びチェックインして設計データをシステムに戻します。全員が連携しながら作業できるため、リソースのバランスをとりながら迅速にプロジェクトを進め、厳しい納期にも対応できます。



# Vault をおすすめする 主な理由



## 07. シンプルな管理と 環境設定

Vault の直観的な管理ツールは、サーバの管理を容易にします。一元的に管理されているため、管理者は、グリッドビュー、保存された検索条件、ショートカットなどの基本的な環境設定を簡単に配置できます。さらに、ツールを使って簡単に Inventor の設計データとテンプレートを管理し、直接ユーザーに配布することができます。

## 08. 標準化を促進

Vault の管理者は、カスタマイズ可能なツールを使用して標準化を行えます。データの作成やレビュー、リリースなどのプロセスについて会社独自のルールを適用したり、ISO 9000 や RoHS などの業界標準への準拠をチーム内で徹底させたりすることができます。

## 09. 設計部品表 (EBOM) を作成

CAD 設計データを元にエンジニアリング部品表を作成して、製品の機能設計の詳細を効果的に管理し、部門間で共有できます。

## 10. データ アクセス をコントロール

各ユーザーの役割や所属するプロジェクトに基づいて権限を設定し、データへのアクセス権限や編集権限をコントロールすることで、データセキュリティを強化できます。

## 11. クラウドとリモートの コラボレーション

どこからでも自在にアクセスできる「つながった」作業環境で、生産性が向上します。Vault Gateway を使用すれば、VPN 接続を介さなくても、Vault クライアントやモバイルアプリから Vault データに安全にアクセスできます。Autodesk® Fusion Team を Vault Professional の Project Sync 機能とともに使用して、安全な1つのクラウドベースのワークスペースで、プロジェクトに関連する顧客、サプライヤー、その他の外部関係者と共同作業することもできます。

## 12. リモートの設計レ ビューを迅速化

Vault Professional に含まれる Web ベース ツールの Autodesk® 共有ビューを使用して、設計の視覚的表現を共有できます。レビュー担当者は Web ブラウザーで設計を表示し、拡大、計測、朱書き、マークアップ、コメントの投稿などを行えます。

## 13. ニーズに合わせて 複数サイトに拡張

Vault Professional で提供されるマルチサイト機能を使用すれば、拠点の分散したチーム間で設計データを同期し、複数の場所や地域、組織全体で設計を共有できます。

Autodesk Vault の詳細はこちらをご覧ください。

ソリューション  
センターに移動